■金田一京助　　言語学者。アイヌ語とユーカラを本格的に紹介，アイヌ自身の著述を世に出すなど，先住民族認知に貢献。
きんだいちきょうすけ
新体詩抄・・1882＝　　盛岡市四ッ家町で元南部藩士で旅館営む家に婿養子で入った金田一久米之助の長男に生まれる。

秩父事件・・1884＝ 2歳：弟が誕生，母と離されて乳母につき，以後もっぱら文化指向の父に可愛がられて育つ。

初の対等条約1888＝ 6歳：小学校に入学。
帝国憲法発布1889＝ 7歳：
帝国議会始・1890＝ 8歳：父が分家，本家の援助で旅館を始めたが，それなりに恵まれた環境に育つ。
足尾鉱毒始・1891＝ 9歳：
本家の蔵の漢籍を片端から嘉始める。2つ下の弟とよくけんかをする。

日清戦争始・1894＝12歳：
伯父の影響を受け，アイヌ語に関心を持つようになる。

発刊された島崎藤村の「若菜集」を読んで，古典から文学青年に転換，

盛岡中学，
ﾋﾟｱﾉ国産化・1900＝18歳：投稿した短歌が入選して与謝野鉄幹の目にとまり，{明星}同人となる。

二高を経て，
日比谷公園・1903＝21歳：**_東京帝国大学文科大学に入学し，上田万年の講義に感銘して言語学科に進む。**
日露戦争始・1904＝22歳：**_この年出たバチェラーの「アイヌ語辞典」が学問的に問題で，教授の勧めもあって，アイヌ語研究を始め，**
日露戦争終・1905＝23歳：
_サハリン(樺太)に実地踏査に行き，
韓国反日暴動1907＝25歳：**_これを生涯の仕事にすることを決意して，東大言語学科を卒業。**
ｱﾗﾗｷﾞ創刊・ 1908＝26歳：海城中学の国語教師になる。北海道で無一文になった石川啄木が訪ねてきて寄寓，以後金銭的にも支援。
伊藤博文暗殺1909＝27歳：三省堂に転職し，以後長い関係となる。この年，結婚。
父が事業に失敗し，実家は長屋住まいとなり，父は次第に気が変になって行く。
大逆事件判決1911＝29歳：長女が誕生するが，
明治天皇没・1912＝30歳：夭折。親友の原敬の甥達に続いて，啄木が死去，最愛の父までが死去，さらに三省堂が破産して無収入になり，**_貧乏のどん底と不幸が重なる。その間，言語学の入門書を初めて翻訳出版。**
大正政変・・1913＝31歳：長男誕生。**_山辺安之助「アイヌ物語」を世に出す。上田教授の計らいで，東大のアイヌ語講師となる。**
第一次大戦始1914＝32歳：**_自由の身になったことを逆に活かし，「北蝦夷古謡遺稿」を出版し，柳田国男に評価される。**
21ヶ条要求・1915＝33歳：**_北海道庁・樺太庁から命じられ，官費で北海道，サハリン(樺太)を実地踏査。その成果を，弟子の久保寺逸彦の学位論文として発表。以後も口承文学作品の筆録と研究につとめ，言語学的研究を行う。**
本格政党内閣1918＝36歳：***アイヌ人のユーカラの大伝承者金成マツ，その姪知里幸恵らと運命的な出会いをする。**

妻は病気がちであったが，生活費にはゆとりが出て来た。
原敬首相暗殺1921＝39歳：娘が誕生。
水平社結成・1922＝40歳：国学院大学教授に就任。**_知里幸恵が自らの口述筆記を持って上京，自宅に寄寓し，研究上大きな役割を果たすが，まもなく死去。**
関東大震災・1923＝41歳：**_その遺作「アイヌ神謡集」など，アイヌ自身の著述を世に出した。「アイヌ聖典」など著作多数。**

金融恐慌・・1927＝45歳：
共産党事件・1928＝46歳：東京帝大助教授。**_金成マツが上京し，集中的に記録して帰郷，彼女は以後長年にわたり筆録して行く。**
世界恐慌・・1929＝47歳：折口信夫らと民俗学会を設立。
海軍軍縮条約1930＝48歳：**_知里幸恵の弟知里真志保を東京に呼び，自らの長男は私立に回し，一高に入れる。**
満州事変・・1931＝49歳：
五一五事件・1932＝50歳：***代表作「アイヌ叙事詩ユーカラの研究」により，帝国学士院恩賜賞を受けた。**

芥川直木賞始1935＝53歳：知里真志保が東大の言語学科を卒業。**_文学博士。**
二二六事件・1936＝54歳：**_指導した論文「アイヌ語法概説」を知里真志保との共著で出版。**
日中戦争始・1937＝55歳：

第二次大戦始1939＝57歳：この年，三省堂が新しい辞書を発行すべく相談に来た際，弟子の見坊豪紀を紹介，彼が独力で「明解国語辞典」をまとめあげ，大ヒットとなったが，世間では監修者たる金田一京助の辞書とみなされている。以後も，多くの辞書の監修者になるが，自ら作業にタッチしたものは無い。
日米開戦・・1941＝59歳：東大帝国大学教授となるが，
創価学会検挙1943＝61歳：依願免官。
年金+総武装 1944＝62歳：金成マツの最後のノート。
敗戦・・・・1945＝63歳：
日本言語学会副会長，国立国語研究所評議員，国語審議会副会長などをつとめ，言語学・国語学に関する著書や論文も多く，敗戦後は国語・国字改革にも尽くした。随筆にもすぐれている。
極東裁判決・1948＝66歳：**_日本学士院会員。**

独立回復・・1951＝69歳：

TV放送始・・1953＝71歳：小泉信三"日本語"(「文芸春秋」新仮名・漢字制限に反対)に「中央公論」で反論。
自衛隊発足・1954＝72歳：***文化勲章を受けた。金成マツに紫綬褒章。**
55年体制始・1955＝73歳：福田恒存"国語改良論に再考をうながす"で批判され，論争。

美智子妃・・1959＝77歳：盛岡名誉市民。**_以降，金成マツのノートを訳出した「アイヌ叙事詩ユーカラ集」を刊行開始，**
安保闘争・・1960＝78歳：
ｲﾀｲｲﾀｲ病始・1961＝79歳：**_金成マツが死去。**

TV宇宙中継始1963＝81歳：
いざなぎ景気1966＝84歳：**_「アイヌ叙事詩ユーカラ集」全9巻で終わる。**
美濃部都知事1967＝85歳：**_日本言語学会会長になったが，**
霞ヶ関ﾋﾞﾙ・ 1968＝86歳：自伝「私の歩いて来た道」。
ﾄﾞﾙｼｮｯｸ・・ 1971＝89歳：**_没した。**

シリーズ「人間の記録」，「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，山田風太郎「人間臨終図巻」，「目でみる日本人物百科」，